

ページ	箇所	訂正前	訂正後
42	本文 1 行目	骨の基本構造は骨細胞と細胞間の骨気質である。	骨の基本構造は骨細胞と細胞間の骨基質である
104	本文 4 行目	リン脂質はジパルミトイルホフファチジンで、・・・	リン脂質はジパルミトイルホスファチジンで、・・・
109	本文 下から 4 行目	炭酸脱水素 (CA) の作用を・・・	炭酸脱水酵素 (CA) の作用を・・・
182	題目	鈣質コルチコイド (ミネラルコルコイド)	鈣質コルチコイド (ミネラルコルチコイド)
190	題目	2) セレクチン	2) セクレチン
199	問 5 解説 選択肢 2 の 4 行目	現在、DPP-4 阻害薬であるリラグチドや、インクレチン薬であるシダグリブチンが～	現在、DPP-4 阻害薬であるシダグリプチンや、インクレチン薬であるリラグルチドが～
201	問 10 解説 選択肢 1 の 2 行目	1×：～活性が弱い。甲実際にはほとんどのトリヨードチロニン (T <sub>3</sub> ) は～	1×：～活性が弱い。実際にはほとんどのトリヨードチロニン (T <sub>3</sub> ) は～
206	問 19 解説 選択肢 4 の 2 行目	4 ×：～過剰分泌により中性心性肥満や満月様顔貌を生じる。	4 ×～過剰分泌により中心性肥満や満月様顔貌を生じる。
236	本文 表下 1 行目、2 行目	第Ⅱ、Ⅲ、Ⅶ、Ⅸ、Ⅹ因子	第Ⅱ、 <del>Ⅲ</del> 、Ⅶ、Ⅸ、Ⅹ因子 ※Ⅲを削除
268	問 1-1 問題文	65 歳女性。身長 162 cm、体重 56 kg。B 細胞性非ホジキンリンパ腫と診断され、次の治療を受けることになった。 (処方 1) d-クロルフェニラミンマレイン酸塩錠 2 mg 1 回 3 錠 アセトアミノフェン錠 200 mg 1 回 2 錠 リツキシマブ (遺伝子組換え) 製剤投与 30 分前 1 回分 (処方 2) リツキシマブ (遺伝子組換え) 製剤 10 mg/mL 1 回 600 mg 用時 10 倍希釈 1 週間間隔で点滴静注	56 歳男性。身長 165cm、体重 63kg。直腸がんと診断され、フルオロウラシル・ホリナートカルシウム・イリノテカン塩酸塩水和物療法 (FOLFIRI) とセツキシマブ (遺伝子組換え) 製剤との併用療法が開始された。
326	アミノ酸の先天性代謝異常の表 4 段目 診断の欄	血中・尿中ヒスチジン上昇	血中チロシン上昇

ページ	箇所	訂正前	訂正後
366	プリン塩基の生合成の図	<p style="text-align: center;"><b>訂正前</b></p> <p>グルタミン酸 アスパラギン酸 グリシン テトラヒドロ葉酸 CO<sub>2</sub></p> <p style="text-align: center;">生合成</p> <p>アスパラギン酸 CO<sub>2</sub> グリシン テトラヒドロ葉酸 テトラヒドロ葉酸 グルタミン</p>	<p style="text-align: center;"><b>訂正後</b></p> <p>グルタミン アスパラギン酸 グリシン テトラヒドロ葉酸 CO<sub>2</sub></p> <p style="text-align: center;">生合成</p> <p>アスパラギン酸 CO<sub>2</sub> グリシン テトラヒドロ葉酸 テトラヒドロ葉酸 グルタミン</p> <p>※グルタミン酸の「酸」を削除</p>
		<p>400 エクササイズ3の7行目</p> <p>クロマチンにおいて、(⑦)は(⑧)の形となっており、転写活性が(⑨)。ヘテロクロマチンは(⑨)の形となり、</p>	<p>クロマチンにおいて、<b>ユークロマチン</b>は(⑦)した形となっており、転写活性が(⑧)。ヘテロクロマチンは(⑨)した形となり、</p>
409	問 12 解説 選択肢 1 の 2 行目	のサブユニット、細菌は30Sと70Sのサブユニットで構成される。	のサブユニット、細菌は30Sと <b>50S</b> のサブユニットで構成される。
478	問 23 問題	誤っているのはどれか。	<b>正しい</b> のはどれか。
608	問 15 選択肢 1 解説	多くのサイトカイン受容体が～	ケモカイン受容体は～ ※「多くの」を削除
613	問 1-2 問題 (c)	ヒト補体の存在下で、本剤を CD20 陽性のヒト培養細胞に作用させた	ヒト補体の存在下で、本剤を CD20 陽性のヒト培養細胞に作用させた <b>ところ、その 50%が溶解したが、同じ条件で CD20 陰性の細胞は溶解しなかった。</b>
614	問 2-2 選択肢 3、4 解説	記載なし	3 ○ : HIV は逆転写することに 1 塩基のコピーミスを生じるため非常に変異が早い。これに対応するため、3 剤以上の抗 HIV 薬を併用するのが一般的である。

			4 ○ : HIV は速やかに耐性を獲得するため、抗 HIV 薬を服用し忘れると耐性株の出現を招く。服用時刻に自らが気づく方法（アラーム機能の活用、家族の協力等）を考えてもらい、服用し忘れがないように指導する。
680	問 2-1 解説 選択肢2の5行目	～を形成し金 <small>ニ</small> の表面を広く覆って	～を形成し菌 <small>ニ</small> の表面を広く覆って
684	P275 エクササイズ解答	④PAF ⑤ホスファチジルイノシトール ⑥カルジオリピン⑦記載なし	④レシチン ⑤PAF ⑥ホスファチジルイノシトール ⑦カルジオリピン
685	P304 エクササイズ解答	⑦α体 ⑧β体	⑦α体とβ体 ⑧マンノース
685	P319 エクササイズ解答	②スレオリン ⑬グルタミン	②スレオニン ⑬グルタミン